

シカ目撃数のモニタリング

近年，芦生研究林において，シカ個体数の増加が懸念されています。しかし，シカ個体数についてのデータは数少ない状況です。そこで，林道走行中の



シカ目撃数の調査をします。みなさんから寄せられた情報を基に，芦生研究林の管理，保全に役立てていきたいと考えています。

モニタリングの結果は，下記のURLで公開しています。
<http://www.forestbiology.kais.kyoto-u.ac.jp/abc/>

ABC(Ashiu Biological Conservation)プロジェクト

高柳敦・井上みずき

連絡先：075-753-6129(森林生物学研究室)

芦生研究林を利用する皆様

シカ目撃数モニタリングにご協力お願い致します。

研究林内のルートA～F(次頁の地図参考)のいずれかを移動する方は、移動中に目撃したシカの数記録用紙に記入してください。

＜記入に関する注意事項＞

- ・ (記入例)を参考に、各項目を記入してください。
- ・ 目撃したシカの数のみ、記入してください。鳴き声は含めません。
(シカがルート終点より前方にいても、調査者がルート上にいる場合はカウントしてください)
- ・ シカを目撃しなかった場合は、0(ゼロ)を記入してください。
- ・ 開始地点は、ルートの両端のどちらからでも構いません。
- ・ ルートの途中までしか移動しない場合は、記入しないでください。
- ・ 1日のうち、同じルートを異なる時間帯に移動する場合は、再度カウントを行ってください。
- ・ 2台以上の車で移動する場合は、先頭の車だけカウントを行ってください。
- ・ **時刻は 24 時間表記でお願いします！ (例:17:00)**
- ・ 濃霧の場合、備考の濃霧を○してください。

記入例

- A** 事務所からモンドリ谷に行き、作業後、事務所に戻る場合
- B** 事務所から長治谷小屋に行き、作業後、事務所に戻る場合
- C** 事務所からケヤキ坂まで、作業を行いながら3時間ほどかけて移動し、作業後、事務所に戻る場合

	記入者	月日	天候	開始時刻	ルート	目撃個体				備考	
						オス	メス	仔	不明		
A	山崎	9/27	晴・ 曇 ・雨	10:45	A	0	1	1	0		濃霧
			晴・ 曇 ・雨	10:57	C	1	0	0	0	オスは3尖	濃霧
			晴・ 曇 ・雨	17:14	C	0	1	0	0		濃霧
			晴・ 曇 ・雨	17:25	A	0	1	0	0		濃霧
B	阪口	9/29	晴・曇・雨	9:46	A	0	0	0	0		濃霧
			晴・曇・雨	9:57	B	0	0	0	0		濃霧
			晴・曇・雨	10:12	E	0	0	0	0		濃霧
			晴・ 曇 ・雨	16:42	E	1	0	0	0		濃霧
			晴・ 曇 ・雨	16:50	B	0	0	0	0		濃霧
C	松木	10/3	晴・曇・ 雨	10:07	A	0	1	1	0	ルート走行中に3時間の作業	濃霧
			晴・ 曇 ・雨	15:55	A	0	0	0	0		濃霧

オス・メス・仔の見分け方



★角の有無が確認できなかった場合や、メスか仔か判断できない場合は、不明の欄に記入してください。

季節変動で言うと、秋に目撃しやすくなり、日変動で言うと、朝と夕方に目撃しやすいです。また天気の影響は今のところ、検出されていません。今後は、区画法データを組み合わせて、芦生のシカの年変動を明らかにしようと思っています。



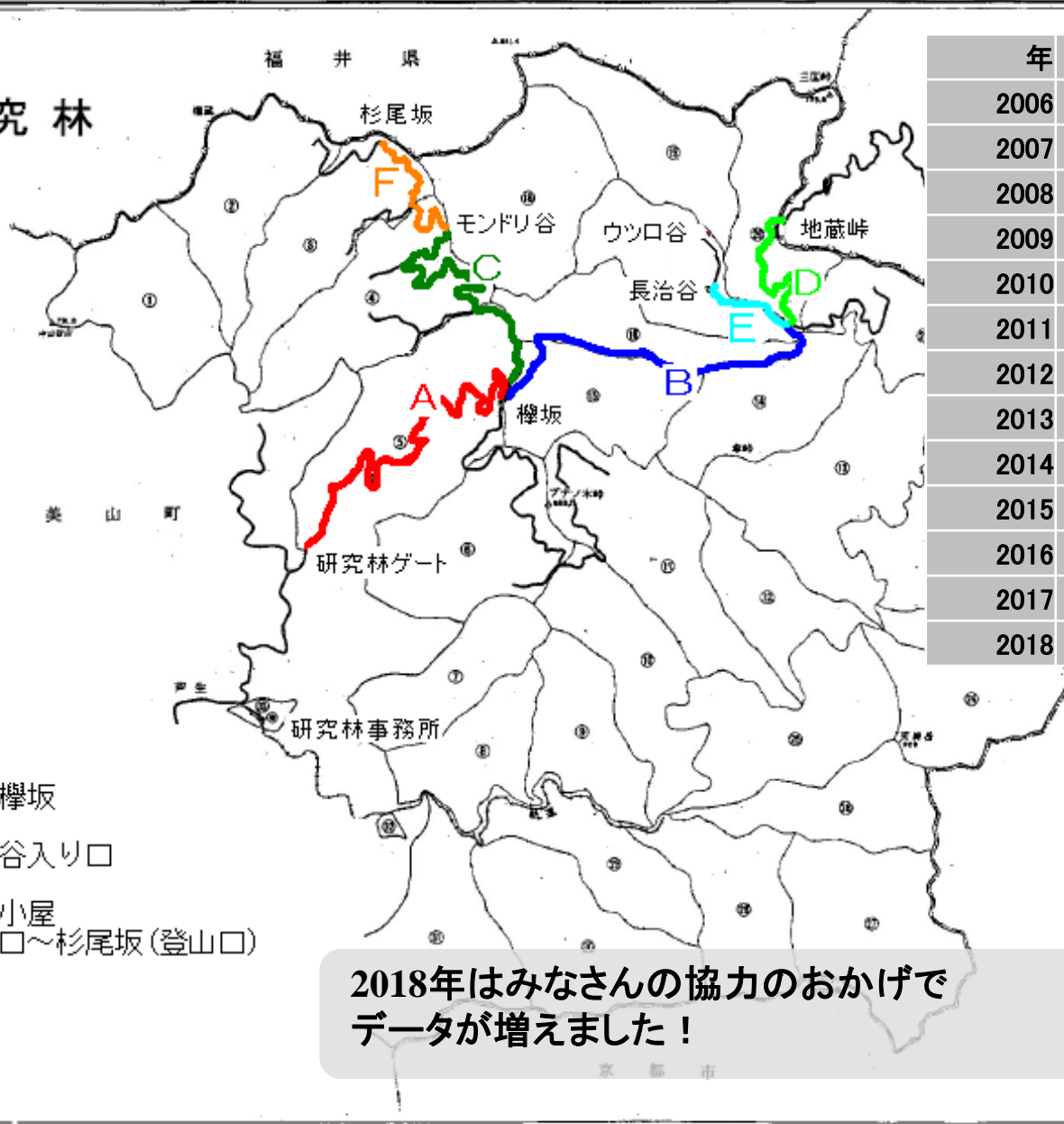
年別シカ目撃数



依然として植生の衰退は続いています、
個体群動態は、ここ数年は落ち着いてる？

2008-2010年の間で、2010年は目撃数が多かったことが、詳細な解析からわかりました
(Mizuki et al. Journal of Forest Research 2013 vol125, pp631-641)。

芦生研究林



年	調査回数
2006	395
2007	1389
2008	1212
2009	1615
2010	1870
2011	1627
2012	1873
2013	1579
2014	1767
2015	1252
2016	1240
2017	859
2018	1324



ただし、2006年に
4ヶ月間

- 【車中から】
- A: 研究林ゲート～榎坂
 - B: 榎坂～中山橋
 - C: 榎坂～モンドリ谷入り口
 - D: 中山橋～地蔵峠
 - E: 中山橋～長治谷小屋
 - F: モンドリ谷入り口～杉尾坂(登山口)

2018年はみなさんの協力のおかげで
データが増えました！

